

# 民主党 神戸市会議員

# 大井としひろ活動報告



桜の花が満開の季節になりました。みなさまには、いかがお過ごしでしょうか。

**平成十七年度神戸市予算決まる**

平成十七年度当初予算案（一）予算総額二兆七千七百七億円（一般会計八千八百六十億円）を審議する第一回定例会は、三月二十九日予算および関連議案九十件を承認し閉会しました。

（詳細は、別冊別冊を参照ください）

**予算特別委員会が民主党会派を代表して質疑を行う**

質疑の主な要旨は以下のとおりです。

**（行財政局）**

**（行財政局長）** 県民税均等割の超過課税で個人では、八百円の規模に上乗せ、法人では標準税率の十%の規模に上乗せ、県下での税収は二億一千万円、神戸市では六千万円の納税義務者が対象となり、個人納税は、神戸市が徴収する立場にある主税部に對し、本年一月に初めて県から説明があった。県に對して「県民税均等割」について十分な広報を行い市民に理解を得ていただくようお願いいたします。具体的な配分はまだ決定していません。

**（行財政局長）** 時間外勤務手当については、従来から縮減を行ってきた。振替休日を取得させるなどで人件費を抑

**（要望）** 市民が納付する県民税が、神戸市民に還元されているのか疑問がある中で新たな超過課税であり、納得しがたい。なぜ増税なのかという点について、市民への広報も含めて強く県に申し出をしていただきたい。

**（議員厚遇問題について）**

大阪府では、カラ残業が問題になっている。私自身も行財政局給与課長から時間外勤務命令簿を提出させ、須磨区役所を調べた。まちづくり推進部の百三名（管理職三十人除く）で超過勤務実施者二十五人平均残業時間八、八Hであった。少なくとも須磨区の場合、問題はなかった。ただ、管理職手当とは別に管理職が休日に四H以上勤務した場合に支給される特別勤務手当は、神戸市条例で認められていない。時間外手当でないか、見解を伺いたい。課長級から局長級までの支給は、市民に理解が得られない。不適当と考えるがどうか。



予算特別委員会で質問をする大井市会議員

市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

何事によらずご相談下さい

神戸市会議員

**大井としひろ**

〒654-0132  
神戸市須磨区多井畑南町22-15  
TEL・FAX 743-6155  
メールアドレス  
kobe-001@neto.eonet.ne.jp

毎週駅前にてご挨拶しております。お気軽にお声掛けください。(8:45~8:30)  
月曜日：地下鉄名谷駅、水曜日：地下鉄妙法寺駅  
金曜日：JR須磨駅

みなち民主主義に参加しませんか？

民主党の運営や活動を支援、共に行動する「**黨員**」や「**サポーター**」を募集しています。

**黨員とは**

- ・民主党の基本理念と政策に賛同する十八歳以上の方なら誰でもなれます。
- ・在外邦人や在日外国人でもOKです。
- ・党費は年間六千円です。有効期間は一年間です。
- ・黨員は、民主党の運営や活動、政策づくりに参加でき、党代表選挙で投票が出来ます。
- ・民主党の広報誌「プレス民主」(月2回発行)と黨員証が送付されます。
- ・黨員の権利や活動は民主主義規約や組織規則で定められており、それ以外の義務やノルマなどありません。

**サポーターとは**

- ・民主党を応援したい十八歳以上の方ならどなたでもサポーターになれます。
- ・会費は年間二千円です。有効期間は一年間です。
- ・サポーターになると、党代表選挙で投票できるほか、党で主催する講演会や勉強会、イベント、選挙ボランティアに参加する事が出来ます。

**お申し込み・お問い合わせは、**  
神戸市会議員大井としひろまで、お電話・FAX・メールで御連絡ください。登録用紙を御自宅等へお送りします。

**（生活文化局長）**

副してきた。局長・部長級においてもそう言ったことから、抑制しており実績は上がっていない。

国を非難するつもりはないが、本省課長補位の場合、管理職手当と超勤を併給している。何が悪い悪いといえない。包括外部監査でも意見と直したの動きも参考にしながら時代に応じた見直しを実施し、適宜予算へ反映させていきたい。

**（生活文化局長）**

増加傾向にある。被害総額も大変大きくなっている。

相談件数の最近の傾向を見ると、四、五年前に比べると三倍近い2万5千件に上っている。

悪徳商法被害者の駆け込み寺的機関である「生活情報センター」の要

**（要望）** 市民が納付する県民税が、神戸市民に還元されているのか疑問がある中で新たな超過課税であり、納得しがたい。なぜ増税なのかという点について、市民への広報も含めて強く県に申し出をしていただきたい。

**（要望）** 市民が納付する県民税が、神戸市民に還元されているのか疑問がある中で新たな超過課税であり、納得しがたい。なぜ増税なのかという点について、市民への広報も含めて強く県に申し出をしていただきたい。

**（要望）** 市民が納付する県民税が、神戸市民に還元されているのか疑問がある中で新たな超過課税であり、納得しがたい。なぜ増税なのかという点について、市民への広報も含めて強く県に申し出をしていただきたい。

**（要望）** 市民が納付する県民税が、神戸市民に還元されているのか疑問がある中で新たな超過課税であり、納得しがたい。なぜ増税なのかという点について、市民への広報も含めて強く県に申し出をしていただきたい。

安心・安全・住みよい須磨の街づくりにも全力投球！

神戸市会議員 大井としひろ

# 神戸の新たな飛躍と活力の創造をめざして

## 平成17年神戸市予算編成で計上された主な事業内容

**2006年2月16日開港**

●神戸空港事業の推進 250億1800万円

航空会社への路線誘致や航空関連産業の誘致など。また、空港施設の見学会など開港記念行事を実施予定。



建設中の旅客ターミナル  
(平成17年1月末)

### 産業・市民サービス

●医療産業都市構想 23億514万円

地元中小企業・進出企業などへ知的財産や市場調査などの支援を行うクラスター推進センターの設置、医療ロボット研究開発プロジェクトの推進など多彩なメニューが用意されました。



医療産業都市（ポートアイランド2期）

●企業誘致の推進、組織変更とインセンティブの強化 1億558万円

市長をキャプテンとするプロジェクトチームをつくり、企業誘致体制を強化。また、ポートアイランド（第2期）や神戸複合産業団地の一部の分譲価格割り引きを3年間の期間限定で実施。

●神戸挑戦企業等総合支援事業 1億3871万円

神戸を拠点に起業化・新分野進出などに取り組む中小企業を支援。産業構造の転換をめざします。

●2万人雇用達成へ 17年度予定数を発表

神戸空港や臨空型産業	1,900人
医療、福祉、環境など	1,400人
企業誘致	1,300人
商工業や集客観光など	1,900人

●区役所サービスの向上 803万円

区役所の日曜開庁を試行的に実施  
(3月27日、4月3日)

### 福祉・医療・教育

医療費助成見直し

●乳幼児医療費助成制度拡充 23億3036万円

神戸市は兵庫県と協調して上乗せ助成制度を設けてきました。

県の財政構造改革によって見直しを余儀なくされることになりましたが、神戸市は独自の施策で負担軽減に取り組みます。

#### ▷神戸市の福祉医療助成見直し

老人	所得制限：一定以上の所得者が家族にいる場合も対象外 自己負担：原則一律2割（負担額に上限あり）
母子	自己負担：外来は上限が月1000円。入院は1割（上限月2000円）、連続4か月目から無料
乳幼児	対象：入院を12歳（小学6年）まで拡大 自己負担：外来は0歳は無料。1歳～就学前は上限1400円。入院は12歳まで無料
重度障害者	自己負担：外来は上限が月1000円。入院は1割（上限月2000円）、連続4か月目から無料。ただし、重症心身障害者は無料
重度精神障害者（創設）	対象：精神障害者は1級 自己負担：外来は上限月1000円、入院は1割（上限月2000円）、連続4か月目から無料

●2万人保育の達成へ保育所整備 2億8461万円

保育所の受入枠 525人拡大  
さらに児童館を活用し、保護者や乳幼児同士が交流できる場の開設。  
子育て支援セミナーなども開催

●学校施設の耐震化 50億3523万円

昭和56年以前に建築された校舎の耐震化を進め、災害に強い学校づくりを進めます。

●国際理解教育の推進 3億7359万円

すべての中学校や高等学校などに外国人英語指導助手を配置するとともに小学校に外国人講師を派遣し、英語に触れ合う機会を充実させます。

●こうべ学びの支援センターの運営 1165万円

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）および高機能自閉症などの児童・生徒の支援を充実させます。

## 都市基盤整備・観光

●高潮対策事業・三宮南地区浸水対策 20億8427万円  
排水ポンプや防潮胸壁の整備、海岸保全施設の補修、台風対策などを行います。

●安全・安心な すまいづくり 6301万円

市民・関係団体と協働で「新神戸市建築物安全安心実施計画」を推進。

また、耐震フェアなどを通して耐震化に対する意識を高めます。

昭和56年以前に建てられた建築物の耐震診断を実施。特に戸建耐震診断事業の予算を2倍の300戸に。



すまいるネット



実演による啓蒙活動を図る

●都心の再生 2億4900万円

三宮駅南地域で、歩行者デッキや地下通路などを整備し、安全で快適な歩行者空間の拡充を進めます。



三宮駅前東線  
(歩行者デッキ)

●阪神三宮駅の改良 3350万円

東口の新設などの改良工事に対して費用の一部を補助。駅施設の防災機能を高めます。



阪神三宮駅の改良

●都心ウォーターフロントの活性化 13億12万円

新港第一突堤の再開発やメリケンパークの再整備、遊休施設の活用とともに誘導案内を充実し、港のにぎわいをつくります。

●スーパー中枢港湾の実現に向けた取り組み 6億1300万円

民間の大規模コンテナターミナル運営会社への支援とともに、次世代高規格コンテナターミナル整備に向けた調査などを実施。神戸港の国際競争力を強化します。

## 予算特別委員会審査



総括質疑に立つ  
土居吉文議員

平成十七年度当初予算並びに関連議案合計五十七議案は、予算特別委員会へ付託され、民主党からは、副委員長に橋本秀一議員（西区）が就任。民主党の各議員は3つの分科会に分かれ、局別審査を行い、総括質疑は土居吉文議員（東灘区）が行いました。

### 海上アクセス再開に 付帯決議案を提出

民主党議員は、予算特別委員会において、海上アクセス航路の再開には、適正な運行計画や健全な経営と収益性事業に、取り組むこととのほか、国・県・関空会社に同航路への運営支援を強く働きかけるよう当局に求める附帯決議案を提出しました。

### 美しいまち

### 安全な町に地域の声を

土居議員は、総括質疑で市政の方針決定に時間とコストがかかりすぎ、また職員の見直し改革や責任の所在が

明確になっていないのではと指摘。行政と市民が協働で美しい街神戸へと頑張っている一方で、駅周辺や幹線道路周辺での景観をそこなう看板、ビラ、駅前不法駐輪等がなくならない。徹底した取り組みが必要だ。

また、耐震化への取り組みには民間マンションや一般戸建住宅への取組みも強めるべきと提案。

さらに、ふれあいまちづくりの事業において、地域活動の強化を目指し、助成事業の検証等を行い、より地域に密着した福祉の非専門的分野で、総合的な活動の展開を目指し、多様な地域人材の発掘と養成に力を入れることが重要だと予算承認にあたっての要望事項としてあげました。

## 平成17年度予算に対する予算承認の要望事項

1. 中学校のクラブ活動で合同チームへの条件緩和と顧問の扱いについて特段の配慮を関係方面に働きかけること
2. 障害者福祉計画について、十分に協議を行い、自立化と地域福祉が実現できる計画にすること。
3. 震災10年神戸からの情報発信について、さらなる拡充をはかられたい。
4. 神戸空港の開港、医療産業都市の推進について、全市民へのPRを含め盛り上げにむけた取り組みをさらに強化されたい。

その他、国際観光交流都市の実現、児童の登下校の安全対策、地方分権改革、障害者小規模作業所について、ふれあいまちづくり事業、地域密着バスなど路線の拡充など10点の要望を付し予算案を承認しました。

民主党

## 神戸市議会 News

編集・発行＝民主党神戸市会議員団／TEL 078-322-5844 FAX 322-6161

平成17年度  
当初予算

## 安全で安心な活力あるまち神戸へ

平成十七年度当初予算等審査する第一回定例会が二月二十九日閉会しました。

神戸市が示した十七年度当初予算案は、神戸経済の活性化と市民福祉の向上をめざして医療産業都市構想の推進、雇用の場の創出に力を入れ、まちの活力と元気な神戸の実現をめざした予算案だったといえますが、市民へのPR不足など多くの課題もあり、民主党は要望を付して予算案を承認しました。

民主党は池田りんたろう議員（北区）が代表質問に立ち予算編成の基本方針をはじめ、今後懸念される介護保険の見直しなど福祉施策の方向性等を質しました。

市民福祉の安定など市長の選択と集中には、政策立案過程から十分な説明を求めていきます。

医療産業都市構想  
市民PRの強化を

市長は予算編成の方針で「市民とともに創る神戸」を強調。

予算案は、民主党が主張してきた神戸空港開港を控え、「まちづくり」に神戸の魅力の創出。人・物・情報が交流するような仕組みづくりには配慮がされたもので



代表質問に立つ池田りんたろう

その上で、非磁性医療用具など販売に向けた中小企業への支援体制が必要だとの主張に、「医療産業都市構想を推進していく上で医療機器のサポートプラザを開設し、地元企業へ総合的な支援を行う」と表明しました。

福祉施策の方向性を  
市民に説明を

国の介護保険制度改革の中に、介護予防サービスの導入が盛り込まれたことに対し、市長は、「介護予防は、本人の理解と意欲を引き出すことが不可欠。国のモデル事業に参画しその効果や課題の検証をしていくことになる。また、保育所整備を民間福祉法人の一部

の管理委託をしていく件で、保育の質の向上に第三者評価制度の導入が有効である」と述べ、すでに制度の導入を前提とした公・民での評価基準などの作成を始めていることを明らかにしました。

その一方で、幼保一体施設については、運営費の確保や施設整備など不明確な部分もあり、国のモデル調査を見てからの答弁にとどまりました。

安心・安全な  
まちづくりを

治水防災対策を抜本的に見直すべきではとの質問に対し、「局地的で予測以上の豪雨が増え、改修等の施設整備だけでなく、防災意識の啓発をはかることに加え、避難勧告の発令基準の見直しも含め総合的な検討を行う」との答弁がされました。

また、生活道路である六甲トンネル等を無料にすべきだと提案。「大幡な未償還額があり政策的決断の段階ではないが、西神戸有料道路で、ひよどりや夢野園については、生活道路としての性格も強く検討したい。また新神戸トンネルについては利用実態を踏まえ利用しやすい有料道路となるよう努力したい」との回答を得ました。

## 当初予算のポイント

民主党が重点配分を  
求めてきた主な内容です。

- 教育、子育て支援施策の拡充  
学校園での安全対策強化など  
953億円
- 乳幼児医療費助成制度拡充  
2万人保育の達成など  
628億円
- 安全で安心な暮らしの実現へ  
学校の耐震化や高潮対策など  
304億円
- 神戸空港開港により  
人・物・情報の交流拠点に  
262億円
- 観光交流都市づくりのために  
ウォーターフロントの整備  
神戸国際展示場3号館建設など  
36億円
- 神戸の活力を創造するために  
企業誘致プロジェクト創設など  
4億円

## 市民1人当たりの予算(約53万円)の使い道

一般会計は市民1人当たり約53万円。その使い道を見れば、その下のとおりです。福祉関連に約14万4千円、全体の3割程度となっています。

